

秋田県書道連盟会報

第 134 号

秋 田 県 書 道 連 盟

事務局 深 井 春 祥

発行人 後 藤 武 之

編 集 広 報 部

(題字：長 沼 雅 彦)

<https://akita-shoren.jp>

躍進の年に

理事長 後藤 武之



平穏な年明けとともに、令和八年がスタートいたしました。会員の皆様にとつて、この一年が実り多く、充実した年となることを心より願っております。

新年最初の連盟行事である秋田県新春書初め席書大会は、三百三十名の参加を得て、盛会のうちに終了いたしました。ご来賓、武道や茶華道の関係者の皆様、さらに参観者を含めると、約六百名の方々にご来場いただきました。ご協力を賜りました関係各位に、厚くお礼申し上げます。

この書初め席書大会は、今年で第十七回を迎え、県内の新春を彩る風物詩として、広く県民の皆様親しまれる行事となりました。開催当初に中高生であった参加者が、今では保護者として自らの子どもを連れて参加している姿も見られ、私たちの活動が次世代への書道文化の継承に、ささやかながら寄与していることを実感しております。この新年の行事が今後も長く続いていくよう、次

度も引き続き、広く参加の呼びかけとご協力をお願いする次第です。

さて、昨年末から新年にかけて、本県の書道界にとつて喜ばしいニュースが続きました。一つは、前副理事長の藤原豊道先生が秋田市文化団体連盟章を受章されたことです。お二人とも、長年にわたる県や市の書道会でのご活動を通じ、地域文化の振興に尽力されてきたご功績が高く評価されたものであります。心よりお祝い申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

もう一つは、書初め席書大会において能代松陽高校とともに見事なパフォーマンスを披露してくれた大曲高校書道部が、新年に静岡で行われた書道パフォーマンスの全国大会において、第三位入賞の栄に輝いたことです。今回の入賞は、同校の今後の活動に一層の弾みがつくものとして、その健闘を心から称えたいと思います。

今年度、当連盟では十代の学生の方の入会を含め、十五名の新しい仲間を迎えることができました。さらに年明け以降も、複数の方から新年度の入会申し込みをいただいております。会員数が増加していることを、大変心強く感じております。



秋田県新春書初め席書大会授賞式にてあいさつをする後藤理事長

我が国の多くの伝統文化団体において、会員数の減少と高齢化は避けて通れない課題となっており、全国一の人口減少が進む本県においては、なおさら深刻な問題と言えるでしょう。そのような中でこの状況は、各部の地道な取り組みや、会員の皆様お一人お一人のご活躍の積み重ねに加え、一昨年にリニューアルした当連盟ウェブサイトや、秋田魁新報社による広報面でのご支援等によるものと受けとめております。今後も、時代の変化を見据えた柔軟な運営と情報発信の工夫を重ねながら、書道文化を次の世代へと確かに引き継いでいく努力を続けてまいります。

本年が、会員の皆様にとつて、そして当連盟にとつて、大きく躍進する一年となることを心より祈念し、年頭のご挨拶いたします。

第17回秋田県新春書初め席書大会

主催 秋田魁新報社

秋田県総合公社

秋田県書道連盟

大会 令和8年1月11日(日)

会場 秋田県立武道館

展覧会期 令和8年1月29日(木)～2月1日(日)

午前10時～午後5時(初日は正午

から、最終日は午後3時まで)

展覧会場 さきがけホール

(秋田魁新報社1F)

「書初めを通して伝統文化の再認識を図り、書道文化の振興並びに書写・書道教育の充実に寄与すること」を目的に、毎年開催されています。

参加者330人。幼児・小学生、高校生、大学生、一般の4部門。

秋田県弓道連盟・秋田県剣道連盟による新春武道演武、秋田県華道連盟による生け花のデモンストレーション、表千家学校茶道部による薄茶席と、日本文化に触れる絶好の機会となっています。提供いただいた短歌・俳句・川柳・現代詩を秋田県書道連盟会員8名が書で表現した文化団体と書のコラボレーション、大曲高校と能代松陽高校の書道部による書道パフォーマンスも行われました。

〔短歌〕

加藤 トシ子先生作品

揮毫者 会津千寿子

鈴木 修一先生作品

揮毫者 竹村 天祐

〔俳句〕

佐々木 公平先生作品

揮毫者 長沢 薫

小野 昭太郎先生作品

揮毫者 深井 春祥

〔川柳〕

福井 正人先生作品

揮毫者 佐々木青爛

畑山 真理子先生作品

揮毫者 千葉 瑤真

〔現代詩〕

佐々木 久春先生作品

揮毫者 畑中 裕子

佐々木 久春先生作品

揮毫者 伊藤 清子



大会



開会式



秋田県剣道連盟による居合道演武



席書大会



秋田県弓道連盟による弓道演武



秋田県華道連盟による生け花のデモンストレーション



大曲高校書道部と能代松陽高校書道部によるパフォーマンス作品



表千家学校茶道部による薄茶席

審査風景



展覧会



秋田魁新報社佐川社長より授与



たくさん保護者の皆様がいっしょにいました



秋田県書道連盟後藤理事長より授与



秋田県立武道館大野館長より授与

2月1日(日)、さきがけホールにて授賞式が行われました。特別賞、推薦の26人と2団体(しよじ汎山書道教室・伊藤恵雪書道教室)が表彰されました。秋田魁新報社佐川博之社長、秋田県立武道館大野正樹館長、秋田県書道連盟後藤武之理事長より賞状が授与されました。後藤理事長からは、「指定の用紙や時間、大勢の人の前で書くという状況の中で、大変緊張したと思いますが、たくさん練習に励んだことが伝わってくる素晴らしい作品が多く、感心しました。いかなる場面でも努力することを忘れずに頑張ってください。」と受賞者へエールを送りました。

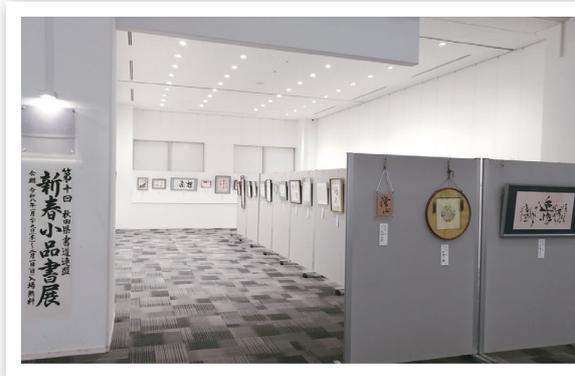
誠にありがとうございました。

第10回新春小品書展



本展は「拘束のない独自の発展を重んじ会員相互の親睦と本県書道文化の向上に寄与すること」を目的に、毎年開催されています。秋田県新春書初め席書大会展覧会と同時期に開催され、今年は80点の出品がありました。

主催 秋田県書道連盟
会期 令和8年1月29日(木) - 2月1日(日)
 午前10時～午後5時
 (初日は正午から、最終日は午後4時まで)
会場 さきがけホール
 (秋田魁新報社1F)



第88回秋田書道展覧会

※写真は秋田魁新報社提供

主催 秋田魁新報社

会期 令和7年10月25日(土) ～ 10月29日(水)

午前10時～午後5時

会場 アトリオン

小学生から一般まで腕を振るう、県内最大規模の公募展です。一般、小中高生から計1635点の応募があり、入賞1394点、入選231点が決まりました。審査主査を務める予定であった石飛博光さん(創玄書道会名誉会長)は急病のため欠席。県内の審査員6名が代わって行いました。

本連盟会員の魁星賞、一般一科・二科を紹介합니다。おめでとございます。

▼魁星賞

「偶然」を「必然」に変える研鑽

山口 顕 正



この度は、秋田書道展において魁星賞という栄えある賞を賜り、驚きとともに大きな喜びを感じております。昨年の県展に続き、身に余る評価をいただけたことは、私にとって身の引き締まる光栄な出来事となりました。

今回の制作過程を振り返りますと、大きな葛藤がありました。昨今の物価高騰は書の世界にも影響を及ぼし、私自身、日々の習作や草稿段階では安価な道具を用いることが増えておりました。そのため、いざ本番用の紙と墨を手に入

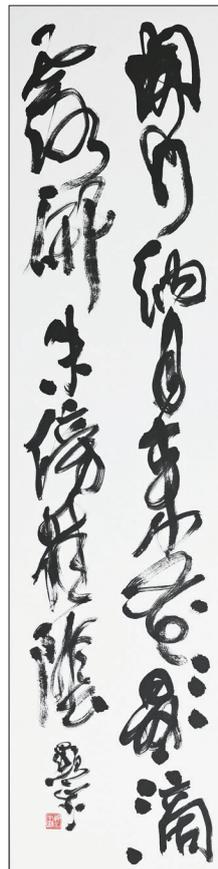
ると、良い作品にしようという気負いからか、筆先に「作為」が生じ、最初の文字目から理想のイメージから離れてしまうという壁にぶつかりました。結局、何度書き直しても、無欲の状態で筆を動かした草稿段階の勢いや構成を超えることができず、道具と表現の調和に課題を残したままの出品になりました。

当初は悔しさを抱えての提出ではありましたが、この「無心の筆跡を超えられない苦しみ」こそが、技術のみならず精神面の未熟さを教えてくれる貴重な経験となりました。計算を超えたところに生まれる響きこそが書の醍醐味ではあるものの、それをいかに確かな実力として定着させるかという、新たな課題をいただいたと感じております。

作品意図としては、明清の古典が持つ大らかなスケール感を基調としつつ、昨年よりも文字を小さく書くことで、額装された際の余白と空間構成の調和を追求いたしました。古典への理解はまだまだ不十分ではありますが、紙面全体の収まりという点では、ようやく目指すべき表現の方向が見えてきたように思います。

今回の反省をただの悔恨に終わらせず、次の一歩を照らす糧として大切にし、自分のペースで書を楽しみ、探究を続けてまいります。急遽、審査にあたられた先生方、ならびに本展開催にご尽力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

作品名「李東陽句」



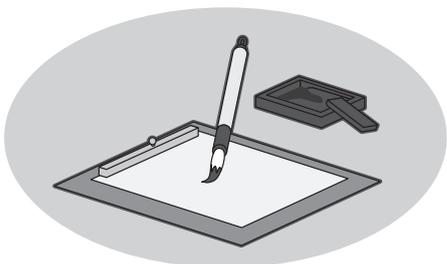
「念願の魁星賞を受賞して」

佐藤 直哉



この度は、魁星賞受賞の栄に浴し、誠に恐悦至極に存じます。魁紙面の記事にもありました様に、石飛博光審査主査が欠席されましたことも影響したものと存じます。過分の高評を仰ぎましたことは、身に余る光栄でございます。今後とも浅学菲才を顧みず、鋭意研鑽を重ねる所存でございます。皆様には、倍旧のご厚誼の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

私は、今年の誕生日で卅五歳になります。暦を見ますと、昭和五十六年生まれの本命星「一白水星」は、今年「八方塞がり」の年に当たります。八方塞がりには、吉運凶運がともに大きく現れるとされ、「凶運は未然に被り除け、吉運は盛大に招き寄せる」という極めて都合の良い願いを込めて「八方除け」という厄祓いを行います。私も年始早々これを行い、今は吉運が大きく現れるのを



実技研修会

日時 令和7年10月12日 (日)
14:00~16:30

日程 13:30 - 14:00 受付
14:00 - 14:10 開会式
14:15 - 16:15 実技
16:20 - 16:30 閉会式
16:30 - 懇親会

会場 協働大町ビル



開会式

講師と研修内容

【仮名部門】 講師・小松紫峯先生

「仮名作品の形態と書美の傾向」

講義内容は、書写形態による卷子本・冊子本の代表的古典紹介や表現方法の相違、歌集が書かれた背景等々。現在は鮮明な画像の作品集が多々ありますが、足を運んで本物を見ることの大切さを強調していたのが印象的でした。

実演では、西行の歌を披露し、仮名の世界に引き込まれました。用具用材について、たくさんのお話を惜しみなく聞かせていただきました。

参加者からは、「仮名の基本的なことが分かり勉強になりました。」「普段は漢字が中心ですが、機会があれば古筆を鑑賞し、作品に生かして行きたいです。」などの声が寄せられました。



【詩文書部門】 講師・佐々木青爛先生

「楽しく詩文書を書こう!」

講義内容は、近代詩文の歴史や特徴、制作にあたり考慮が必要な著作権や撰文方法、用具用材、構成、余白、落款等々。

実技では、配布された資料を参考に、多彩な線質や造形を楽しみながら筆を執っていました。希望に応じ添削が行われました。実演では馬場あき子氏の詩を豪快に書き上げ、その後は質問コーナーがあり、参加者の皆さんは積極的に聞いていました。

参加者からは、「普段漢字の勉強をしているので、近代詩文を勉強する機会がなく、今回参加して良かったと思う。」「展覧会に行った際には、近代詩文の作品も鑑賞したいです。」などの声が寄せられました。



新年研修会

日時

令和8年1月25日(日)
午後2時～午後3時15分

会場

協働大町ビル

講師

大久保 瑠衣先生

プロフィール

1983年、秋田市生まれ。2006年、秋田魁新報社入社。営業局営業部、本荘支局、制作センター整理部などを経て、2018年よりデジタルセンターデジタル部。写真記者として、2018年夏の甲子園(金足農業高校準優勝)、2021年の無観客開催の東京五輪(バドミントン競技)などを取材し、数々の歴史に残る場面を収める。2025年から統合編集本部写真映像グループ長。

演題

南極日誌
～写真と映像でめぐる氷の世界～

内容

- ・南極観測隊について
- ・南極にはどうやって行く?
- ・観測隊のお仕事・南極って…どんなところ?
- ・昭和基地 昭和基地以外 自然現象
- ・4ヶ月間を振り返って

普段私たちがテレビや新聞でみる南極の世界はもちろん、なかなか見ることでできない裏側も紹介してくれました。昔は女性が参加することは稀だったために女性用のお風呂は作られておらず、時間帯で男性女性と分けて使用しているそうです。大久保先生のようにパワフルに活躍する女性が増えてきていることに嬉しく感じた方も多いのではないのでしょうか。また日常生活に必要な水は大変貴重なので、ろ過しながら洗濯回数を抑え大切に使用しているそうです。普段当たり前に生活していることがいかに有難いことか、考えさせられました。

過酷な4ヶ月の南極での生活を振り返り「今思うと最高に楽しかった、やれることだけをやれば案外どうにでもなる、同行者として参加したが、チームの一員として認めてくれて仲間になれたことを誇りに感じた」と、大久保先生の常に明るく前向きな姿が印象的でした。

分野は違えど、前向きな考え方や行動力に感銘を受けました。

大久保先生が2025年度東北写真記者協会「新聞・企画部門」で銅賞を受賞した「南極090(口グ)」。

2024年12月から2025年4月にかけて、日本新聞協会の南極観測隊同行取材者として、第66次隊とともに南極へ向かい、観測船「しらせ」から目にした幻想的な光景や、隊員たちの使命感あふれる姿を記録したものです。「南極090(口グ)」で検索すると、詳細を見ることが出来ます。今回残念ながら参加できなかった皆様も是非ご覧下さい。

写真展「南極にて—第66次観測隊同行記録—」が3月14日(土)から26日(木)まで、さきかけホールにて開催され、未公開の写真も含め約40点が展示されました。



手前の写真は研修会で印象的だった「正月ではない初日の出」



講師 大久保 瑠衣先生

研修会の様子



秋田県芸術文化章を受章して

藤原豊道



この度は思いがけない栄誉ある章をいただき驚きで一杯です。

この章は秋田県書道連盟、所属団体である書壇院、毎日書道会、県内書友の皆さん、家族の協力のお蔭と感謝申し上げます。

「努力の上に花が咲き、絆の下に実を結ぶ」という言葉をいつも大切にしております。個人の努力は勿論であるが、多くの仲間、絆があつてこそ達成出来るものと信じております。

昨年九月の健康診断で肺に異常が見つかり、入退院を繰り返していたところ、芸文協から受章の連絡が届きました。急に元気になったように喜んでしまいました。

さて、八十歳をとうに過ぎた今を振り返って見ると「書」に生かされた人生だったと思えます。紆余曲折、つらいこと、苦しいことが沢山あつたけれど書があつたお蔭で乗り越えてくることが出来ました。

長く生きてきて大事なことは、

- 一、物事に対する情熱。
- 一、決めた事をやり遂げる信念。
- 一、書格ある作品づくり。

ジャンルが違い、利慾を離れて一生懸命目標に向う人は、実に幸福な人であり尊敬すべき人

であります。こういう人達と対峙して語り合う時、心が自から和やかに

なります。その人が持つている人間としての魅力は、

書に限らずあらゆることで失敗を恐れず前に進むべきです。苦難を堪え

忍ぶことで人は強くなり、考えが広がり魅力となつて現れます。

最後になりましたが、授章式から祝賀会まで長時間に亘り盛況なお祝いに導いて下さり感謝申し上げます。これからも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

秋田市文化団体連盟章を受章して

保坂省峰



このたびは、秋田市文化団体連盟章を受章し身に余る光栄に存じます。

平成二十三年に秋田市書道会に入会し、次年から総務部で歴代の会長ほか



奥様・お弟子さんに囲まれて喜びいっぱいの豊道先生

役員の皆様から励ましの言葉を頂きながら業務を進める事が出来ました事は、今から思えば大きな喜びとなっております。

また、秋田市文化団体連盟主催の秋田市芸術祭・文化の祭典に精力的に参加し、複数の団体間で協力できる素晴らしい展覧会が出来る様に努めて来しました。

この様な事が出来たのも、秋田県書道連盟の中で、展覧会部に所属しながら色々な方々の書に対する姿勢を見、体験できたおかげであると感じています。

そして、これを機に地域活動をはじめとする秋田県の書道の発展に微力ながらも努力する所存でおります。



株式会社 塚田美術印刷

取締役会長 塚田 高樹
代表取締役社長 塚田 大樹

本社工場 / 〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代)

これまでの主な展覧会 (連盟会員所属団体)

第51回秋田県秀作美術展
(R8.2.26 ~ 3.1 秋田県立美術館県民ギャラリー)



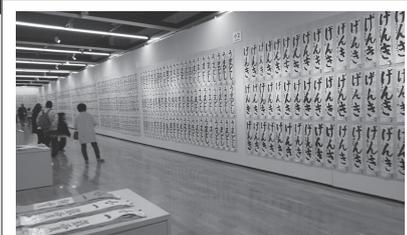
佐藤晃山・千田寿山二人展
(R7.12.1 ~ R8.2.14 井川町公民館町民ギャラリー)



第16回書人秋田会展
(R7.9.20 ~ 28 あぎた文化交流発信センター)



第65回新年書きぞめ展
(R8.3.6 ~ 8 秋田県立美術館)



第21回毎日書道秋田新春展
(R8.1.16 ~ 19 アトリオン)



加藤了楓前衛書展一点と線と〇△□-
(R7.10.3 ~ 8 フォンテあぎた文化交流センター)



第13回書遊会展
(R8.3.6 ~ 9 五城目町五城館)



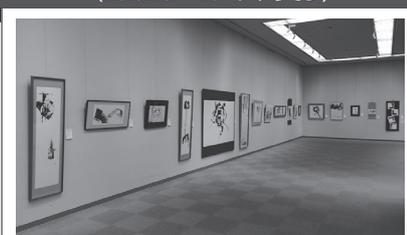
第48回瀬の会書展
(R8.1.23 ~ 25 アトリオン)



石川抱鶴書展~可能性への挑戦~併催にいたこども園書道教室展
(R7.11.1 ~ 3 県立美術館県民ギャラリー)



第64回秋田市書道会展
(R8.3.13 ~ 16 アトリオン)



千田寿山小品書展
(R8.2.16 ~ 3.31 北都銀行八郎瀧支店)



第24回秋田一先会書展
(R7.11.29 ~ 12.1 アトリオン)



総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 クラヤ

〒010-0952 秋田市山王新町4-5
 TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004
 ホームページアドレス <http://kuraya-shodou.com>
 メールアドレス kuraya@seagreen.ocn.ne.jp

秋田県唯一の
月刊教育書道誌

書友社

～おかげ様で創刊73周年～

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11
 TEL 018-862-3484 FAX 018-862-3485
 MAIL shoyusha-akita@outlook.jp

会員募集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。

事務局 深井 春 祥

ホームページ <https://akita-shoren.jp>

新会員のご紹介 (敬称略)

泉野	小毛	打利	打矢	本間	安倍	工藤	高橋	三浦	堀内	斉藤	工藤	浅野	須田
玲苑	恵美子	美緒	敏昭	敏子	博洲	諒子	波音子	由紀子	潤一	遥	理紗子	麻里	里美
(秋田)	(八峰)	(能代)	(由利本荘)	(由利本荘)	(大館)	(にかほ)	(由利本荘)						
市	町	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市	市

今後開催予定の主な展覧会

- 第33回瀾の会小品展
令和8年4月10日(金)～12日(日)
アトリオン
- 第17回書閣の会書道展
(東海林汎山書道教室作品展)
令和8年4月10日(金)～13日(月)
アトリオン
- 第57回六葉會書展
令和8年4月17日(金)～20日(月)
アトリオン
- 第39回秋田一東書道会
令和8年5月15日(金)～17日(日)
アトリオン

総務部・広報部に届いている展覧会を掲載しております。引き続き情報提供を宜しくお願いいたします。

物故者 ●千葉 涼 翠 様 (八峰町)

連盟にご報告のあった方を掲載しています。

編集後記

ユネスコ無形文化遺産に、日本の酒造りに続き、日本の書道がいよいよ審議に入ったという明るいニュースが聞こえてきます。

2025日本国際博覧会(大阪・関西万博)にて、書のイベント「未来へつなぐ日本の書～空・海・時を超えて～」が開催されました。万博のテーマは『いのち輝く未来社会のデザイン』。最新のテクノロジーを駆使して伝統と融合させたエア書道やVR書道、水書やワークショップ等も行われ、多くの方々が楽しく体験し、書に触れたそうです。

書を愛好する者として、こうした明るい話題に触れることができるのは、とても嬉しいことだと思う今日この頃です。

令和7年度秋田県芸術文化振興大会(県芸術文化協会主催)では「県芸文協若手協会員の嘆き！」をテーマにパネルディスカッションが行われました。自分よりも下の世代にできることは何か、未来のためにできることは何か、一人でも多くの方が考えることができたなら、明るい扉が開けるような気がします。(広報部一同)

美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号

TEL 018 (846) 8496

那 墨痕あさやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。
「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921

秋田市大町四丁目3-35

☎ 018-823-4311(代)